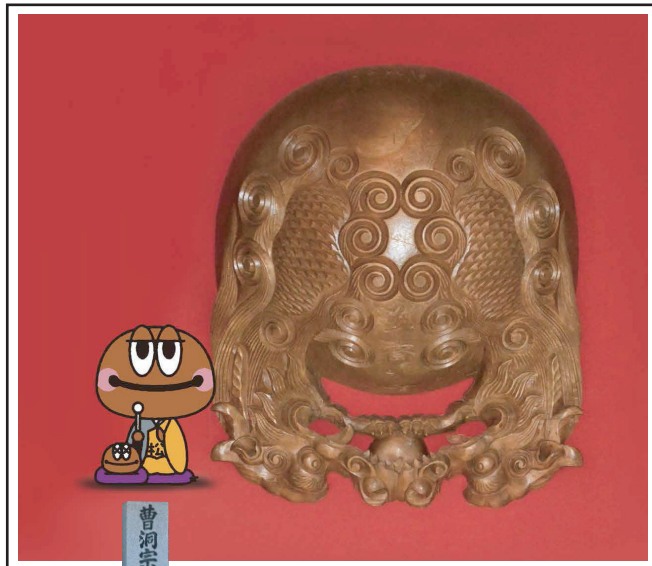


令和四年寅年を迎えました。今年はお寺でオリジナルのカレンダーを制作致しました。(これまでは福島県青年会発行) 内容についてご忌憚なく感想をお寄せ下さい。お寺の歴史も五〇一年目のスタートになります。コロナに負けず頑張ってください。



令和4年カレンダー
2022年

令和4年松源寺は新たなスタートとして
501年目を歩んで参ります。

曹洞宗大蔵山 松源寺

新年の御挨拶



永松だより

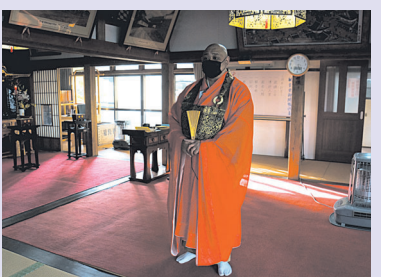
松源寺通信
第21号

松源寺開創 500年
令和4年・2022年



盂蘭盆大施食会

8月14日 13:30~



◆ 禅の小窓20 * 他はこれ吾にあらざる ◆

令和四年 年間行事計画

- 一月一〜三日 三朝祈禱
二十六日 高祖降誕会
(道元禪師の誕生日)
- 二月十五日 涅槃会 (お釈迦様が亡くなった日)
永松会・婦人会新年会未定
- 三月十一日 東日本大震災慰霊法要
3.11を忘れないコンサート
当山三十四世智貫孝善大和尚命日
- 四月八日 降誕会 (お釈迦様の生まれの日)
十八〜二十四日 春彼岸
- 五月 婦人会総会 (未定)
永松会総会 (未定)
弟子大輝の瑞世 (ずいせ)
大本山永平寺拝登
(二本山の一夜住職)
- 六月 教区護持会研修会 (特派布教道場)
- 七月十日 防災訓練 (青葉土樋町内会共催)
永松だより第二十二号発刊
- 八月十四日 盂蘭盆大施食会 (十三時三十分打出し)
- 九月二十〜二十六日 秋彼岸
教区萬燈会 (向山長徳寺)
両祖忌 (道元禪師・瑩山禪師がお亡くなりになった日)
観音堂御開帳供養
- 十月十六日 秋の夕べコンサート
- 十一月二十一日 太祖降誕会 (瑩山禪師の誕生日)
成道会 (お釈迦様がお悟りを開かれた日)
永松会忘年会 (未定)
- 十二月八日

年会費
3,000円

会長

只野 田鶴子
梅原 みち
佐藤 廣子
宮沢 ハマ子
及川 裕子
山内 美津枝
山内 陽子
戸田 トシ子
東海 貴代美

年会費
10,000円

会長
副会長
会計

竹丸 寅夫
高橋 金雄
石田 和洋
太田 守
丹野 勝雄
小崎 正隆
松屋 茂行
植木 憲郎
木皿 信吉
橘 尚朗
佐野 正人

永松会

婦人会役員

手洗い場の設置

お墓参りの際に井戸水をご使用いただいておりますが、新型コロナウイルス禍により清潔を保つために手洗い場を設置いたしました。ご活用下さい。



看板の説明

お寺の行事もなかなか檀家の皆さんにご案内出来ず、五〇〇年記念法要も役員さんのみでお勤めを致しました。ご祝儀を頂戴した皆様には法要の様子をDVDにして配布いたしました。本年よりコロナ収束を祈りつつ行事を開催していきたいと考えております。つきましては入口の掲示板の下に看板を設置いたしました。期日を決めて行う法要と日曜日のお休みに開催する行事がありますので、ご確認いただきご参加ください。



永代供養墓の完成

松源寺では要望の大きかった「永代供養墓」がようやく完成いたしました。時の流れによりお墓の維持が多様化してきました。しかしご先祖様を忘れずに供養したい気持ちや亡き人を偲ぶ気持ちに変わりはないでしょう。広瀬川の景色が好きなのでこの墓地に眠りたいとお尋ねの方もいました。



井戸場に飾る子供たちの絵を募集します！

郵便はがき
9 8 0 0 0 0 6 5
仙台市青葉区上楠一丁目六番三十号
大蔵山 松源寺 御中

井戸場で飾る子供たちの絵を募集します！
現在の井戸場に蓮・ハスの絵を設置致しました。周りの部分に檀家の皆様のご協力をお願いいたします。
はがきの裏面に自然(花、鳥、動物、風、月)をテーマに絵を描いて頂き応募下さい。
レーザー転写にてタイルに焼き付け井戸場の裏面に貼り付けます。
書いて応募下さい。

応募メット 令和4年3月31日(木)

このスペースに絵を描いて下さい。
松源寺井戸場タイルコンテストエントリー用紙

お名前
保護者名
郵便番号 〒
住 所
電話番号
メールアドレス

応募メット 令和4年3月31日(木)

現在の井戸場に蓮・ハスの絵を設置致しました。周りの部分に檀家の皆様のご協力を得て井戸場を飾りたいと思います。はがきの裏面に自然(花、鳥、動物、風、月)をテーマに絵を描いて頂き応募下さい。
レーザー転写にてタイルに焼き付けます。
奮ってご応募下さい。

応募メット 令和4年3月31日(木)

本をよむ 第五十号 禅の風

発行 曹洞宗
価格 一〇〇〇円(税別)



「道元禅師と節分」

「立春貼符」といい、曹洞宗では立春に「立春大吉」と書いて三宝印を捺したお札を山門(三門)や諸堂に貼る。修行の無事、教えの弘通、人々の幸福を祈る。もとは中国の風習のようだ。道元禅師の言行録『永平広録』には、ある節分の日、道元禅師が筆を執り「大吉」と書いたことが記されている。また、四文字とも左右対称で裏から見ても同じだから、入った鬼が入っていないと勘違いして去るという話もある。

